

## 序

鳥取県埋蔵文化財センターは、一般国道9号中山名和道路の改築に伴う発掘調査を、平成21年度から実施し、平成24年度ですべての遺跡調査を終えることができました。遺跡数は12遺跡、調査面積は延べ7万3千平方メートル以上に及んでいます。

本書に掲載した、大山町に所在する殿河内ウルミ谷遺跡は、平成24年度に調査を行い、旧石器時代から近世にかけての遺構を検出するに至りました。

飛鳥時代から奈良時代にかけての、鍛冶施設を伴う建物群や大規模な造成の痕跡は、大量に出土した須恵器窯関連遺物とともに、当時の須恵器生産に関連した遺構と考えられ、古代の生産活動の様子やこの地域の歴史を解明するための貴重な調査例となると考えます。

鳥取県埋蔵文化財センターでは、発掘調査により明らかとなった遺跡や出土品を活用し、その普及啓発に努めることも重要な業務としております。

殿河内ウルミ谷遺跡では、現地説明会を開催し、ご来場いただいた県内外からの方々にその素晴らしさを実感していただきました。

本書は、その調査結果を報告書としてまとめたものです。この報告書が、郷土の歴史を解き明かしていく一助となり、埋蔵文化財が郷土の誇りとなることを期待しております。

本書をまとめるにあたり、国土交通省倉吉河川国道事務所、地元関係者の方々には、一方ならぬ御指導、御協力をいただきました。心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

平成26年3月

鳥取県埋蔵文化財センター  
所長 久保 穰二郎

## 序 文

一般国道9号は山陰地方を東西に結ぶ主要幹線道路であり、広域交通はもとより、観光交通、生活交通など、多様な交通を担う重要な路線です。

このうち、国土交通省倉吉河川国道事務所は、鳥取市青谷町から米子市(鳥取～島根県境)までを管轄しており、時代の要請に沿った各種の道路整備事業を実施しているところです。

中山名和道路は、西伯郡大山町八重から同町下市にかけての多種多様な交通による交通混雑の緩和、安全・円滑な交通の確保のほか、災害時の緊急輸送路の代替路線としての機能分担などを目的とし、さらに、山陰の地方都市間の連携を強化するとともに、環日本海交流の基幹軸の一翼を担う高規格幹線道路(自動車専用道路)として整備を行っています。

このルートには、多数の埋蔵文化財包蔵地がありますが、鳥取県教育委員会と協議を行い、文化財保護法第94条の規定に基づき、鳥取県教育委員会教育長に通知した結果、事前に発掘調査を実施し、記録保存を行うこととなりました。

平成24年度は、「殿河内上ノ段大ブケ遺跡」、「殿河内ウルミ谷遺跡」、「下甲退休原第1遺跡」、「赤坂小丸山遺跡」の4遺跡の本調査について、鳥取県埋蔵文化財センターと発掘調査の委託契約を締結し、発掘調査を行いました。

本書は、上記の「殿河内ウルミ谷遺跡」の調査結果をまとめたものです。この貴重な記録が、文化財に対する認識と理解を深めるため、ならびに、教育及び学術研究のために広く活用されることを願うと同時に、国土交通省の道路事業が、文化財保護に深い関心を持ち、記録保存に努力していることをご理解いただければ幸いと存じます。

事前の協議をはじめ、現地での調査から報告書の編集に至るまでご尽力いただいた鳥取県埋蔵文化財センターの関係者に対して、心から感謝申し上げます。

平成26年3月

国土交通省 倉吉河川国道事務所  
所 長 角田 文敏

## 例 言

- 1 本報告書は、国土交通省倉吉河川国道事務所の委託により、鳥取県埋蔵文化財センターが一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査事業として、平成24度に行った殿河内ウルミ谷遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本報告書に収載した遺跡の所在地及び調査面積は以下のとおりである。  
西伯郡大山町殿河内字ウルミ谷848外 調査面積：8,063㎡
- 3 本報告書で示す標高値は、国土交通省2級基準点H19-2-9の74.812mを基準とする標高値を使用した。方位は公共座標北を示す。磁北は、座標北に対し、約6°40′西偏する。なお、X：、Y：の数値は、世界測地系に準拠した公共座標第V系の座標値である。
- 4 本報告書に掲載した地形図は、大山町作成の「大山町地形図」を使用した。
- 5 本報告にあたり、以下の内容を業者委託した。  
調査前地形測量、調査前方眼測量、調査前・後航空写真撮影、調査後地形測量、自然科学分析、須恵器胎土分析、鉄関連遺物金属学的分析
- 6 本遺跡出土須恵器等の胎土分析を、岡山理科大学白石 純教授に委託し、玉稿を賜った。
- 7 本報告書に掲載した遺物の実測・浄書は、埋蔵文化財センターが行った。
- 8 本報告書で使用した遺構・遺物写真は担当職員が撮影した。
- 9 本報告書の編集は牧本が行った。執筆は担当職員が分担して行い、目次に執筆者名を記した。
- 10 発掘調査によって作成された図面・写真などの記録類、出土遺物は鳥取県埋蔵文化財センターに保管している。
- 11 現地調査及び報告書作成にあたっては、下記の関係諸機関に御指導・御協力いただいた。明記して深謝いたします。

穴澤 義功、上原 真人、角田 徳幸、白石 純、山中 敏史、渡邊 朋和、大山町教育委員会  
新潟県柏崎市教育委員会、新潟県三条市市民部（敬称略）

# 凡 例

- 1 遺物の注記における遺跡名には「ウルミタニ」の略語を用い、併せて「遺構名、遺物番号、日付」を記入した。
- 2 本報告書で用いた遺構・遺物の略号は以下のとおりである。  
掘立柱建物跡：SB、段状遺構：SS、土坑：SK、道・溝：SX、自然河川：NR、柱穴・ピット：P  
土器・土製品：算用数字、石製品：S、鉄関連遺物：丸付き算用数字、羽口(構成遺物以外)：T
- 3 本調査における遺構番号は、基本的に発掘調査時のものと一致しているが、一部変更しているものがある。
- 4 本書における実測図の縮尺については、特殊なものを除き基本的に以下の縮尺としている。  
遺構図 SB・SS：1/80・1/100・1/300、SK：1/40・1/60、SX：1/80・1/150・1/200、  
NR：1/600・1/80、遺物出土状況：1/20・1/40  
遺物実測図 土器・土製品：1/4・1/6、石器：2/3・1/2・1/3・1/4
- 5 本書における土層名称は、基本的に『新版 標準土色帳』にならった。
- 6 遺構図・遺物実測図に用いたトン及び記号は、特に説明がない限り以下のとおりである。  
■：貼床、■：石器磨面、■：赤色塗彩  
S：石器・礫、遺物出土ポイント：●(土器)・□(石器)
- 7 遺物実測図の断面は須恵器を黒塗りとし、それ以外のものは白抜きで示している。また、遺物実測図中における記号は以下のとおりである。  
→：ケズリの方向(砂粒の動き)
- 8 遺物観察表の法量記載における※は推定復元値、△は現存値を示す。
- 9 鉄関連遺物の法量は最大長、最大幅、最大厚、重量を計測した。メタル度は特殊金属探知機によって判定された金属鉄の残存度を示すもので、基準感度は次のとおりである。  
なし：磁着反応がなく、金属鉄が全く含まれていないことを示す。  
錆化(△)：磁着反応があるが、Hでも反応しない酸化物で、金属が残留しないことを示す。  
H(○)：Hは最高感度で、ごく小さな金属鉄(1~2.5mm)が残留することを示す。  
M(◎)：Mは中間感度で、Hの倍以上の大きさの金属鉄(4~5mm)が残留することを示す。  
L(●)：Lは低感度で、Mの倍以上の大きさの金属鉄(10~12mm)が残留することを示す。  
特L(☆)：特Lは低感度で、Lの倍以上の金属鉄(20mm以上)が残留することを示す。  
椀形鍛冶滓の分類は、基本的に以下のとおりである。  
特大：1001g以上、大：501~1000g、中：251~500g、小：126~250g、極小：125g未満
- 10 本報告書における遺構・遺物の時期決定は下記参考文献を参照した。

## 【参考文献】

- 小林達雄編1989『縄文土器大観1~4』小学館  
清水真一1992「因幡・伯耆地域」『弥生土器の様式と編年-山陽・山陰編-』木耳社  
牧本哲雄1999「古墳時代の土器について」『長瀬高浜遺跡Ⅷ・園第6遺跡』財団法人鳥取県教育文化財団  
田辺昭三1981『須恵器大成』角川書店  
岡田裕之・土器検討グループ2010「出雲地域における古代須恵器の編年」『出雲国の形成と国府成立の研究-古代山陰 地域の土器様相と領域性-』鳥根県古代文化センター  
八嶋 興2011「鳥取県における古代須恵器の様相-奈良・平安時代を中心に-」『古代の須恵器』平成22年度埋蔵文化財専門職員研修「遺物調査検討過程」鳥取県埋蔵文化財センター  
八嶋 興2004「山陰の中世土器に関する覚書」『中近世土器の基礎研究』XⅧ 日本中近世土器研究会編  
重根弘和 2003 「中世備前焼に関する考察」『山口大学考古学論集』近藤喬一先生退官記念事業会  
横田健次郎・森田勉 1978 「太宰府出土の輸入中国陶磁器について」『九州歴史資料館研究論集4』  
上田秀夫 1989 「14から16世紀の青磁碗の分類について」『貿易陶磁研究2』日本貿易陶磁研究会  
藤沢良祐 2001 「瀬戸・美濃大窯製品の生産と流通-研究の現状と課題-」『戦国・織豊期の陶磁器流通と瀬戸・美濃大窯製品-東アジア的視野から-資料集』(財)瀬戸市埋蔵文化財センター

# 目 次

序  
序文  
例言  
凡例

## 第1章 調査の経緯

- 第1節 調査に至る経緯…………… (牧本) 1
- 第2節 調査の経過と方法…………… (牧本) 2
- 第3節 調査体制…………… (牧本) 4

## 第2章 遺跡の位置と環境

- 第1節 地理的環境…………… (牧本) 7
- 第2節 歴史的環境…………… (牧本) 7

## 第3章 調査成果

- 第1節 遺跡の概要…………… (牧本) 11
- 第2節 遺跡の立地と基本層序…………… (牧本) 11
- 第3節 旧石器時代の調査成果
  - 1 概要…………… (岡田・高橋) 21
  - 2 調査の経過と方法…………… (岡田・高橋) 21
  - 3 出土状況…………… (高橋) 23
  - 4 出土遺物…………… (高橋) 23
  - 5 遺跡の構造…………… (高橋) 42
  - 6 まとめ…………… (高橋) 47
- 第4節 弥生時代の調査成果
  - 1 概要…………… (牧本) 53
  - 2 段状遺構…………… (牧本) 53
- 第5節 古代の調査成果
  - 1 概要…………… (牧本) 56
  - 2 段状遺構・掘立柱建物跡…………… (家塚・福島・原田・牧本) 56
  - 3 土坑・製炭土坑…………… (岡田・原田) 88
  - 4 柵列…………… (福島) 94
  - 5 溝…………… (牧本) 95
- 第6節 中世の調査成果
  - 1 概要…………… (牧本) 97
  - 2 自然河川…………… (岡田・牧本) 97
  - 3 鉄関連遺物…………… (坂本) 111

第7節	近世以降の調査成果	
1	概要	(牧本) 124
2	炭窯	(家塚) 124
3	製炭土坑	(原田) 127
第8節	時期不明の遺構	
1	概要	(牧本) 128
2	土坑・製炭土坑	(家塚) 128
3	道	(原田・牧本) 133
第9節	遺構外出土遺物	
1	A区遺構外出土遺物	(牧本) 134
2	B区遺構外出土遺物	(牧本) 136
3	C区遺構外出土遺物	(牧本) 146
第10節	出土遺物観察表	(穴澤・坂本・牧本) 157
第4章	自然科学分析の成果	
第1節	殿河内ウルミ谷遺跡の自然科学分析	(パリノ・サーヴェイ株式会社) 194
第2節	鉄関連遺物分析資料の考古学的観察	(穴澤・坂本) 223
第3節	殿河内ウルミ谷遺跡鍛冶関連遺物の分析調査 (日鉄住金テクノロジー(株)八幡事業所 T A Cセンター大澤正己、鈴木瑞穂)	238
第4節	殿河内ウルミ谷遺跡出土須恵器の胎土分析	(岡山理科大学 白石 純) 264
第5章	総括	
第1節	古代の殿河内ウルミ谷遺跡	(牧本) 268
第2節	須恵器窯関連遺物について	(牧本) 271
第3節	板屋型羽口から見た平安時代後期の鉄生産	(坂本) 274

写真図版

報告書抄録



## 挿図目次

第1図	国道9号(中山名和道路)関係遺跡位置図1	第56図	SS8-1・SB2-1	68
第2図	調査区位置図	第57図	SS8-1・SB2-2	69
第3図	調査区区割り図	第58図	SS8-2	69
第4図	遺跡位置図	第59図	SS8-3	70
第5図	周辺遺跡位置図	第60図	SS8-4	70
第6図	調査前地形測量図	第61図	SS8出土遺物	71
第7図	調査後地形測量図・遺構配置図	第62図	SS8-1・SB2-1鍛冶関連微細遺物検出状況	72
第8図	基本層序(1)	第63図	SS8-2鍛冶関連微細遺物検出状況	72
第9図	基本層序(2)	第64図	SS9・SB3・SA2	74
第10図	旧石器調査区地形測量図(上)、 グリッド設定図(下)	第65図	SS9出土遺物	75
第11図	旧石器調査区土層断面	第66図	SS10・SS12	76
第12図	旧石器遺物出土状況(1)	第67図	SS10出土遺物	77
第13図	旧石器遺物出土状況(2)	第68図	SS12出土遺物(1)	78
第14図	母岩1(1)	第69図	SS12出土遺物(2)	79
第15図	母岩1(2)	第70図	SS12出土遺物(3)	80
第16図	母岩1(3)	第71図	SS12出土遺物(4)	81
第17図	母岩2(1)	第72図	SS11	82
第18図	母岩2(2)	第73図	SS11出土遺物	82
第19図	母岩3(1)	第74図	SS13	83
第20図	母岩3(2)	第75図	SS13出土遺物	84
第21図	母岩3(3)	第76図	SS14	85
第22図	母岩4(1)	第77図	SS14出土遺物	86
第23図	母岩4(2)	第78図	SS15	86
第24図	母岩5	第79図	SS16	87
第25図	母岩6	第80図	SS16出土遺物	87
第26図	母岩7	第81図	SK1出土遺物	88
第27図	母岩8	第82図	SK1	89
第28図	非識別資料	第83図	SK2	90
第29図	母岩1分布図	第84図	SK2出土遺物	91
第30図	母岩2分布図	第85図	SK8	92
第31図	母岩3分布図	第86図	SK11出土遺物	92
第32図	その他の母岩分布図	第87図	SK11	93
第33図	石器および石核分布図	第88図	SK15	94
第34図	旧石器分布の構造	第89図	SA1	94
第35図	石器群の構成	第90図	SA1出土遺物	95
第36図	弥生時代遺構配置図	第91図	SX2出土遺物	95
第37図	SS3	第92図	SX2	96
第38図	SS3出土遺物	第93図	中世遺構配置図	97
第39図	SS17出土遺物	第94図	NR1-3土層断面	98
第40図	SS17	第95図	NR1-1・2出土遺物(1)	99
第41図	古代遺構配置図	第96図	NR1-1・2出土遺物(2)	100
第42図	SS1・2	第97図	NR1-1・2出土遺物(3)	101
第43図	SS1出土遺物	第98図	NR1-1・2出土遺物(4)	102
第44図	SS1・2土層断面	第99図	NR1-1・2出土遺物(5)	103
第45図	SS2土器溜り遺物出土状況	第100図	NR1-1・2出土遺物(6)	104
第46図	SS2出土遺物(1)	第101図	NR1-1・2出土遺物(7)	105
第47図	SS2出土遺物(2)	第102図	NR1-1・2出土遺物(8)	106
第48図	SS4	第103図	NR1-1・2出土遺物(9)	107
第49図	SS4出土遺物	第104図	NR1-1・2出土遺物(10)	108
第50図	SS5	第105図	NR1-1・2出土遺物(11)	109
第51図	SS5出土遺物	第106図	NR1-1・2出土遺物(12)	110
第52図	SS6	第107図	NR1-3出土遺物(1)	111
第53図	SS6出土遺物	第108図	NR1-3出土遺物(2)	112
第54図	SS7	第109図	殿河内ウルミ谷遺跡鉄関連遺物の分類整理	113
第55図	SS8			

第110図	殿河内ウルミ谷遺跡鉄関連遺物組成	115
第111図	板屋型精錬鍛冶路に伴う板屋型羽口と滓類	117
第112図	鉄関連遺物名称凡例	118
第113図	鉄関連遺物構成図(1)	121
第114図	鉄関連遺物構成図(2)	122
第115図	鉄関連遺物構成図(3)	123
第116図	近世遺構配置図	124
第117図	SK 7 廃絶時状況	125
第118図	SK 7	126
第119図	SK 7 出土遺物	127
第120図	SK 6	127
第121図	時期不明遺構配置図	128
第122図	SK 3	128
第123図	SK 4	129
第124図	SK 5	129
第125図	SK 9	129
第126図	SK10	130
第127図	SK12	130
第128図	SK13	131
第129図	SK14	131
第130図	SX 1	132
第131図	SX 3	133
第132図	A区遺構外出土遺物(1)	135
第133図	A区遺構外出土遺物(2)	136
第134図	A区遺構外出土遺物(3)	137
第135図	B区遺構外出土遺物(1)	138
第136図	B区遺構外出土遺物(2)	139
第137図	B区遺構外出土遺物(3)	140
第138図	B区遺構外出土遺物(4)	141
第139図	B区遺構外出土遺物(5)	142
第140図	B区遺構外出土遺物(6)	143
第141図	B区遺構外出土遺物(7)	144
第142図	B区遺構外出土遺物(8)	145
第143図	C区遺構外出土遺物(1)	146
第144図	C区遺構外出土遺物(2)	148
第145図	C区遺構外出土遺物(3)	149
第146図	C区遺構外出土遺物(4)	150
第147図	C区遺構外出土遺物(5)	151
第148図	C区遺構外出土遺物(6)	152
第149図	C区遺構外出土遺物(7)	153
第150図	C区遺構外出土遺物(8)	154
第151図	C区遺構外出土遺物(9)	155
第152図	暦年較正結果(確率分布: $2\sigma$ )	197

第153図	主要珪藻化石群集の層位分布	207
第154図	花粉化石群集の層位分布	209
第155図	植物珪酸体含量	212
第156図	FT-IRスペクトル	216
第157図	FeO系平衡状態図	250
第158図	鍛造剥片3層分離型模式図	250
第159図	鳥取県下の製鉄遺跡出土砂鉄・製錬滓と殿河内ウルミ谷遺跡A区出土鉄滓の化学組成	250
第160図	粒状滓の顕微鏡組織	253
第161図	粒状滓・鍛造剥片の顕微鏡組織	254
第162図	鍛造剥片の顕微鏡組織	255
第163図	椀形鍛冶滓・羽口の顕微鏡組織	256
第164図	椀形鍛冶滓の顕微鏡組織・EPMA調査結果	257
第165図	流出孔～溝滓・再結合滓の顕微鏡組織	258
第166図	炉壁・椀形鍛冶滓の顕微鏡組織	259
第167図	羽口・椀形鍛冶滓の顕微鏡組織	260
第168図	椀形鍛冶滓の顕微鏡組織	261
第169図	羽口の顕微鏡組織・EPMA調査結果	262
第170図	椀形鍛冶滓の顕微鏡組織・EPMA調査結果	263
第171図	殿河内ウルミ谷遺跡出土窯試料と製品の比較(K-Ca)	265
第172図	殿河内ウルミ谷遺跡出土窯試料と製品の比較(Sr-Ca)	265
第173図	須恵器窯別の比較(K-Ca)	266
第174図	須恵器窯別の比較(Sr-Ca)	266
第175図	殿河内ウルミ谷遺跡と各窯跡の比較(K-Ca)	266
第176図	殿河内ウルミ谷遺跡と各窯跡の比較(Sr-Ca)	266
第177図	殿河内ウルミ谷遺跡古代遺構変遷図	269
第178図	板屋型羽口法量分布	274
第179図	板屋型羽口I類(1)	275
第180図	板屋型羽口I類(2)	276
第181図	板屋型羽口II類	277
第182図	板屋型羽口II類にみる簀巻き痕	279
第183図	殿河内ウルミ谷遺跡における板屋型羽口の製作工程復元図	279
第184図	板屋型羽口を伴う炉形	281
第185図	板屋型羽口出土遺跡分布図	282
第186図	埼玉県大山遺跡における竪形炉	283
第187図	殿河内ウルミ谷遺跡の椀形鍛冶滓組成	284



## 挿表目次

表1	遺構新旧対照表	17	表46	鉄関連遺物観察表(10)	188
表2	旧石器母岩別組成表	21	表47	鉄関連遺物観察表(11)	189
表3	殿河内ウルミ谷遺跡出土旧石器一覧表(1)	51	表48	鉄関連遺物観察表(12)	190
表4	殿河内ウルミ谷遺跡出土旧石器一覧表(2)	52	表49	鉄関連遺物観察表(13)	191
表5	SS5ピット一覧表	65	表50	縄文時代以降石器・石製品観察表(1)	192
表6	SS8・SS2ピット一覧表	68	表51	縄文時代以降石器・石製品観察表(2)	193
表7	SS9・SB3・SA2ピット一覧表	73	表52	年代測定試料	194
表8	SS12ピット一覧表	81	表53	放射性炭素年代測定結果(1)	195
表9	SS14ピット一覧表	85	表54	放射性炭素年代測定結果(2)	196
表10	SS15ピット一覧表	87	表55	樹種同定結果	199
表11	SA1ピット一覧表	95	表56	珪藻分析結果(1)	203
表12	鉄関連遺物組成表	114	表57	珪藻分析結果(2)	204
表13	殿河内ウルミ谷遺跡羽口計測表	118	表58	珪藻分析結果(3)	205
表14	殿河内ウルミ谷遺跡鉄関連遺物集計表	119・120	表59	珪藻分析結果(4)	206
表15	土器・土製品観察表(1)	157	表60	花粉分析結果	208
表16	土器・土製品観察表(2)	158	表61	植物珪酸体分析含量	211
表17	土器・土製品観察表(3)	159	表62	FT-IR測定条件	215
表18	土器・土製品観察表(4)	160	表63	分析試料番号1	223
表19	土器・土製品観察表(5)	161	表64	分析試料番号2	223
表20	土器・土製品観察表(6)	162	表65	分析試料番号3	224
表21	土器・土製品観察表(7)	163	表66	分析試料番号4	225
表22	土器・土製品観察表(8)	164	表67	分析試料番号5	226
表23	土器・土製品観察表(9)	165	表68	分析試料番号6	227
表24	土器・土製品観察表(10)	166	表69	分析試料番号7	228
表25	土器・土製品観察表(11)	167	表70	分析試料番号8	229
表26	土器・土製品観察表(12)	168	表71	分析試料番号9	230
表27	土器・土製品観察表(13)	169	表72	分析試料番号10	231
表28	土器・土製品観察表(14)	170	表73	分析試料番号11	232
表29	土器・土製品観察表(15)	171	表74	分析試料番号12	233
表30	土器・土製品観察表(16)	172	表75	分析試料番号13	234
表31	土器・土製品観察表(17)	173	表76	分析試料番号14	235
表32	土器・土製品観察表(18)	174	表77	分析試料番号15	236
表33	土器・土製品観察表(19)	175	表78	殿河内ウルミ谷遺跡鉄関連遺物分析試料 一覧	237・238
表34	土器・土製品観察表(20)	176	表79	供試料の履歴と調査項目	251
表35	土器・土製品観察表(21)	177	表80	供試料の組成	252
表36	土器・土製品観察表(22)	178	表81	出土遺物の調査結果のまとめ	252
表37	鉄関連遺物観察表(1)	179	表82	殿河内ウルミ谷遺跡出土須恵器胎土分析 一覧表	267
表38	鉄関連遺物観察表(2)	180	表83	東伯耆における主な製炭土坑樹種	271
表39	鉄関連遺物観察表(3)	181	表84	山陰地方の主な須恵器窯消長表	273
表40	鉄関連遺物観察表(4)	182	表85	板屋型羽口出土遺跡一覧表	282
表41	鉄関連遺物観察表(5)	183	表86	殿河内ウルミ谷遺跡鉄関連主要要素 一覧表(1)	287
表42	鉄関連遺物観察表(6)	184	表87	殿河内ウルミ谷遺跡鉄関連主要要素 一覧表(2)	288
表43	鉄関連遺物観察表(7)	185			
表44	鉄関連遺物観察表(8)	186			
表45	鉄関連遺物観察表(9)	187			

## 巻頭図版目次

巻頭図版 1	1	C区完掘状況(東上空から)	巻頭図版 3	須恵器窯関連遺物
	2	SS1・2完掘状況(北西から)	巻頭図版 4	鉄製品
巻頭図版 2	1	旧石器	巻頭図版 5	板屋型羽口
	2	土馬	巻頭図版 6	鍛冶関連遺物

## 図版目次

PL. 1	1	調査前航空写真(北東上空から)		3	SS8遺物出土状況(北から)
	2	調査前航空写真(西上空から)	PL.16	1	SS9・SB3完掘状況(東から)
PL. 2		調査区調査後航空写真(上空から)		2	SS9掘り下げ状況(東から)
PL. 3	1	A・B区調査後航空写真(西上空から)		3	SS9土層断面(南西から)
	2	C区調査後航空写真(西上空から)	PL.17	1	SS10・12・14完掘状況(北東から)
PL. 4	1	A区旧石器調査区土層断面(西から)		2	SS12・14完掘状況①(北から)
	2	A区旧石器出土状況①(西から)		3	SS12・14完掘状況②(東から)
	3	A区旧石器出土状況②(西から)	PL.18	1	SS12土層断面(南から)
	4	A区旧石器調査区完掘状況(北から)		2	SS11完掘状況(西から)
PL. 5	1	SS3完掘状況(北から)		3	SS11土層断面(北東から)
	2	SS3掘り下げ状況(北から)	PL.19	1	SS13完掘状況(東から)
	3	SS3土層断面(南東から)		2	SS13土層断面(北から)
PL. 6	1	SS17完掘状況(西から)		3	SS14・SB4完掘状況
	2	SS17土層断面(北東から)	PL.20	1	SS14・SB4床面検出状況(西から)
	3	SS17遺物出土状況(北から)		2	SS14床面検出状況(南から)
PL. 7	1	SS1・2完掘状況(北西から)		3	SS14床面土器出土状況(北から)
	2	SS1・2完掘状況(南西から)	PL.21	1	SS15完掘状況(西から)
PL. 8	1	SS2土層断面A-A'西側(北東から)		2	SS15土層断面(北から)
	2	SS2土層断面B-B'(北東から)		3	SS16完掘状況(東から)
	3	SS2土層断面C-C'(北東から)	PL.22	1	SS16土層断面(南から)
PL. 9	1	SS2土層断面D-D'(南西から)		2	SK1・2・11完掘状況(西から)
	2	SS2土層断面E-E'(北東から)		3	SK2完掘状況(東から)
	3	SS2土層断面F-F'(北東から)	PL.23	1	SK8完掘状況(北から)
PL.10	1	SS2土器溜り遺物出土状況(南から)		2	SX2完掘状況(南から)
	2	SS4石材出土状況(北から)	PL.24	1	SX2検出状況(南から)
	3	SS4土層断面(北東から)		2	SX2土層断面A-A'(南から)
PL.11	1	SS5・SB1完掘状況(南から)	PL.25	1	NR1-3土層断面(北東から)
	2	SS5土層断面(北から)		2	NR1-1鉄滓出土状況(南東から)
	3	SS5須恵器短頸壺出土状況(南東から)		3	NR1-2鉄滓出土状況(東から)
PL.12	1	SS6完掘状況(南東から)	PL.26	1	SK6完掘状況(北から)
	2	SS7・8掘り下げ状況(南から)		2	SK6土層断面(東から)
	3	SB2-1完掘状況(東から)		3	SK7床面検出状況(東から)
PL.13	1	SS8-1・SB2-2完掘状況(東から)	PL.27	1	SK7排水溝検出状況(東から)
	2	SB2-1焼土面鍛冶炉検出状況(北から)		2	SK7煙道検出状況(北西から)
	3	SS8-2完掘状況(東から)		3	SK7土層断面(西から)
PL.14	1	SS8-3完掘状況(東から)	PL.28	1	SK3完掘状況(北西から)
	2	SS8-4完掘状況(東から)		2	SK3土層断面(西から)
	3	SS8土層断面(東から)		3	SK4完掘状況(北東から)
PL.15	1	SS8土層断面(北から)		4	SK4土層断面(北東から)
	2	SS8-4土層断面(北東から)		5	SK5完掘状況(南東から)

	6	SK 5 土層断面(北西から)		2	SK 1・2・11、SX 2 出土遺物
PL.29	1	SK 9 完掘状況(東から)	PL.42		SS11・13・14出土遺物
	2	SK 9 土層断面(北から)	PL.43	1	SS13土師器高坏138
	3	SK10完掘状況(北から)		2	SS13土師器高坏139
	4	SK10土層断面(北から)		3	SS13須恵器坏身140
	5	SK12完掘状況(北東から)		4	SS13須恵器坏身143
	6	SK13完掘状況(西から)		5	SS13須恵器坏蓋144
PL.30	1	SK14完掘状況(北西から)		6	SS13須恵器坏蓋145
	2	SK14土層断面(北西から)		7	SS13須恵器坏蓋148
	3	SX 1 完掘状況(南東から)		8	SS13須恵器高坏150
	4	SX 3 完掘状況(北から)	PL.44	1	SS14土師器小型壺156
PL.31	1	SS 3 出土遺物		2	SS14土師器碗157
	2	SS17出土遺物(1)		3	SK 1 製塩土器170
	3	SS17出土遺物(2)		4	SK 1 須恵器高台坏171
PL.32		SS 1・2・4 出土遺物		5	SA 1 須恵器坏蓋176
PL.33	1	SS 1 須恵器坏蓋 8		6	NR1-1須恵器坏189
	2	SS 2 須恵器高台坏19		7	NR1-3須恵器坏身215
	3	SS 5 須恵器短頸壺27	PL.45		NR1-1・2 出土遺物
	4	SS 8 土師器盤34	PL.46	1	NR1-3出土遺物
	5	SS 8 須恵器高台坏37		2	A区遺構外土師器甕226
	6	SS 8 須恵器壺42		3	A区遺構外土師器高坏229
	7	SS 9 須恵器坏蓋50		4	A区遺構外須恵器坏蓋233
	8	SS 9 須恵器坏蓋51	PL.47	1	A区遺構外須恵器坏蓋234
PL.34		SS 5・6・8 出土遺物		2	A区遺構外須恵器高台坏239
PL.35	1	SS 9 出土遺物		3	A区遺構外須恵器高台坏241
	2	SS 9 須恵器甕52		4	A区遺構外須恵器壺253
PL.36		SS10・12出土遺物		5	B区遺構外出土遺物(1)
PL.37	1	SS12土師器甕54	PL.48		A区遺構外出土遺物
	2	SS12手捏ね土器小鉢68	PL.49	1	B区遺構外須恵器坏蓋277
	3	SS12須恵器坏蓋69		2	B区遺構外須恵器坏蓋281
	4	SS12須恵器隙蓋71		3	B区遺構外須恵器坏蓋285
	5	SS12須恵器坏蓋73		4	B区遺構外須恵器坏身288
	6	SS12須恵器坏蓋76		5	B区遺構外須恵器坏身290
	7	SS12須恵器坏蓋77		6	B区遺構外須恵器高坏303
	8	SS12須恵器坏蓋78		7	B区遺構外須恵器高坏304
PL.38	1	SS12須恵器坏身80		8	B区遺構外須恵器高坏305
	2	SS12須恵器坏身81	PL.50	1	B区遺構外須恵器高坏308
	3	SS12須恵器坏身85		2	B区遺構外須恵器高坏311
	4	SS12須恵器坏身86		3	B区遺構外有蓋高坏蓋312
	5	SS12須恵器平瓶87		4	B区遺構外須恵器甕
	6	SS12須恵器高坏89	PL.51		B区遺構外出土遺物(2)
	7	SS12須恵器高坏90	PL.52		B区遺構外出土遺物(3)
	8	SS12須恵器高坏91	PL.53		B区遺構外出土遺物(4)
PL.39	1	SS12須恵器高坏92	PL.54		B区遺構外出土遺物(5)
	2	SS12須恵器高坏93	PL.55		B区遺構外出土遺物(6)
	3	SS12須恵器高坏94	PL.56	1	B区遺構外出土遺物(7)
	4	SS12須恵器高坏97		2	C区遺構外弥生土器壺229
	5	SS12須恵器高坏98		3	C区遺構外弥生土器鼓形器台436
	6	SS12須恵器甕101	PL.57	1	C区遺構外土師器甕453
PL.40		S12出土須恵器		2	C区遺構外土師器甕469
PL.41	1	SS12出土土錘		3	C区遺構外土師器碗484

	4	C区遺構外土師器小型鉢489		2	母岩2(裏)
	5	C区遺構外須恵器坏蓋505		3	母岩3(表)
	6	C区遺構外須恵器坏蓋506		4	母岩3(裏)
PL.58	1	C区遺構外須恵器坏蓋513	PL.73	1	母岩3接合状態(表)
	2	C区遺構外須恵器坏身517		2	母岩3接合状態(裏)
	3	C区遺構外須恵器坏身518		3	母岩3分解状態(表)
	4	C区遺構外須恵器坏身519		4	母岩3分解状態(裏)
	5	C区遺構外須恵器坏身520	PL.74	1	母岩4(表)
	6	C区遺構外須恵器坏身521		2	母岩4(裏)
	7	C区遺構外有蓋高坏530		3	母岩5・6・7・8(表)
	8	C区遺構外須恵器高坏531		4	母岩5・6・7・8(裏)
PL.59	1	C区遺構外須恵器高坏534	PL.75	1	非識別資料(表)
	2	C区遺構外須恵器高坏535		2	非識別資料(裏)
	3	C区遺構外須恵器小型長頸壺545		3	石器および石核(表)
	4	C区遺構外須恵器平瓶553		4	石器および石核(裏)
	5	C区遺構外須恵器平瓶554	PL.76	1	調査区出土剥片石器
	6	C区遺構外須恵器平瓶555		2	調査区出土礫石器
	7	C区遺構外須恵器小型高坏561	PL.77	SS8	出土金床石
PL.60		C区遺構外出土遺物(1)	PL.78	1	調査区内出土鉄器X線写真(1)
PL.61		C区遺構外出土遺物(2)		2	調査区内出土鉄器X線写真(2)
PL.62		C区遺構外出土遺物(3)	PL.79	1	鉄製品
PL.63	1	C区遺構外出土遺物(4)		2	炉壁(製錬炉)
	2	C区遺構外出土遺物(5)	PL.80	1	板屋型羽口(1)
PL.64		C区遺構外出土遺物(6)		2	板屋型羽口(2)
PL.65		C区遺構外出土遺物(7)		3	板屋型椀形鍛冶滓破面状況
PL.66		C区遺構外出土遺物(8)		4	板屋型椀形鍛冶滓
PL.67		C区遺構外出土遺物(9)	PL.81	1	炉壁(鍛冶炉)
PL.68		B・C区遺構外出土遺物		2	椀形鍛冶滓
PL.69	1	調査区内出土瓦類(凸面・上面)	PL.82	1	流出孔滓(鍛冶系)
	2	調査区内出土瓦類(凹面・下面)		2	流出孔～溝滓(鍛冶系)
PL.70	1	母岩1(個体1-1)接合状態(表)	PL.83		炭化材顕微鏡写真(1)
	2	母岩1(個体1-1)接合状態(裏)	PL.84		炭化材顕微鏡写真(2)
	3	母岩1(個体1-1)分解状態(表)	PL.85		炭化材顕微鏡写真(3)
	4	母岩1(個体1-1)分解状態(裏)	PL.86		炭化材顕微鏡写真(4)
PL.71	1	母岩1分解状態(表)	PL.87		炭化材顕微鏡写真(5)
	2	母岩1分解状態(裏)	PL.88		炭化材顕微鏡写真(6)
	3	母岩2(個体2-1)接合状態(表)	PL.89		炭化材顕微鏡写真(7)
	4	母岩2(個体2-1)接合状態(裏)	PL.90		珪藻化石
	5	母岩2(個体2-1)分解状態(表)	PL.91		花粉化石
	6	母岩2(個体2-1)分解状態(裏)	PL.92		植物珪酸体
PL.72	1	母岩2(表)			

## 文中写真目次

文中写真1	A区重機表土剥ぎ風景(西から)……………4	文中写真9	鍛冶関連遺物整理作業風景……………111
文中写真2	C区上段重機表土剥ぎ風景(北から)…4	文中写真10	現地説明会風景(1)……………156
文中写真3	C区中段重機表土剥ぎ風景(東から)…6	文中写真11	現地説明会風景(2)……………156
文中写真4	C区下段重機表土剥ぎ風景(北から)…6	文中写真12	放射性炭素年代測定試料(1)……………219
文中写真5	B区重機表土剥ぎ風景(南西から)…12	文中写真13	放射性炭素年代測定試料(2)……………220
文中写真6	B区暗渠石材除去作業風景(南東から)12	文中写真14	放射性炭素年代測定試料(3)……………221
文中写真7	A区作業風景……………62	文中写真15	赤外分光分析試料……………222
文中写真8	SX2作業風景(南から)……………95		